


県学給だより

No.54

発行日：令和6年5月1日
 発行者：
 公益財団法人静岡県学校給食会
 〒420-0856
 静岡市葵区駿府町1-12
 TEL：054-254-7428
 FAX：054-251-0879
 URL：http://www.sgk.or.jp



正月に発生した能登半島地震、4月17日には愛媛地震、天災はいつ訪れるかわかりません。本県では東海地震や南海トラフ地震の発生が叫ばれてから久しくなりましたが、家具の固定、備蓄品や避難経路の確認など日頃から備えは万全にしておきたいものです。



□ 食料品の価格動向

2024年も食品価格の値上がり続く

帝国データバンクによると、2023年の家庭用を中心とした飲食料品の値上げは累計で3万2,396品目となり2022年累計の2万5,768品目を6,628品目(25.7%)上回りました。近年2年連続で全食品分野が一斉に値上げされた例はなく、年間3万品目を超える水準はバブル崩壊以後の過去30年で最大規模となり記録的な値上げラッシュとなりました。急激な円安進行による2022年からの原材料コスト高に加え、電気・ガスなどのエネルギーコスト、包装資材や物流費の上昇分を製品価格へ反映する動きが続いたことで、1か月当たり2,000~3,000品目前後の値上げが常態化してきました。2023年8月以降は前年同月を下回る水準が続き、値上げラッシュは10月を最後にピークアウトし、値上げの勢いは大幅に減速しています。

Business View	2024年			2023年	
	1-7月	1-7月	通年	1-7月	通年
原材料高	89.1%	98.0%	95.9%		
エネルギー	59.3%	84.6%	80.6%		
包装・資材	68.1%	65.4%	60.6%		
物流費	58.4%	57.6%	58.3%		
円安 (為替の変動)	29.4%	14.7%	11.4%		
人件費	24.4%	10.2%	9.1%		

[注] 値上げ要因には一部重複を含む。2023年は24年3月末時点の最新値

帝国データバンク TDB Business View より

しかし、2024年に値上げが予定される品目は1~7月までの累計で約6,400品目あり、平均値上げ率は19% (2022=14%、2023年=15%)となっています。値上げの要因は「円安」が29.4%(前年14.7%)、「人件費」が24.4%(前年10.2%)で、円安水準の長期化によるものと人件費の増加によるものが増加傾向にあり、「原材料高」や「エネルギー」によるものは減少傾向となっています。しかし、オリーブ油、胡麻、海苔、カカオ豆などは記録的な猛暑や干ばつ、長雨などの天候不順の影響で不作のため2024年3月以降、販売価格を引き上げた食品や飲料が相次ぎ「原材料高」値上げが再燃しつつあります。また、1ドル150円前後の「円安」水準により、輸入コストの押し上げによる原材料高も顕著化しており「原材料高」や「円安」を理由とした値上げが、今夏以降に本格化する可能性があります。

2024年4月の値上げ食料品2,806品目の内訳は、ハム・ソーセージなど畜肉製品や冷凍食品など「加工食品」が2,077品目で最も多く、次いで、だし製品を中心にトマトケチャップ、唐辛子など香辛料製品の「調味料」が369品目、さらに洋酒、トマトジュース、即席コーヒーなどの「酒類・飲料」が287品目でした。

今後、コストアップ先行の値上げが続く中、賃上げによる人件費の増加を販売価格へ転嫁する動きや、2024年問題に関連した物流費の増加に伴う値上げは各食品メーカーに浸透していくとみられています。しかし、2年に及ぶ食品の値上げラッシュに晒された消費者の購買力は節約志向の

強まりから低下傾向にあり、販売数量の減少に直結しやすい多品目・大幅値上げについては業界内で慎重な判断も求められています。2024年の値上げは、原材料高などが押し上げる形で月平均1,000品目前後、年間で最大15,000品目が緩やかなペースで当面続くものと思われます。

小麦粉価格情勢

農林水産省は、令和6年4月期の輸入小麦の政府売渡価格を昨年10月期と比較し0.6%引き下げ、主要5銘柄の加重平均で6万7,810円/ト(税込み)としました。引き下げは2期連続となります。

小麦の売渡価格は、主な産地である北米の不作やウクライナ情勢による供給不安が広がった影響で高騰し、昨年4月期で1トあたり7万6,750円となり過去最高を記録しましたが、その後、アメリカでの豊作などから国際価格はウクライナ情勢前の水準を下回るまで回復してきています。

今回の価格改定によるパンなど小麦を原材料とする食料品への影響について農林水産省では、引き下げは小幅で、食料品の価格に大きな変化はないのではないかと予想しています。



なお、この価格改定を受けて大手製粉工場が販売する業務用小麦粉価格が7月1日から改定されますが、輸送費が上昇していることもあり、強力・準強力小麦粉が30円/25kg値下げ、中力・薄力小麦粉は110～115円/25kg値上げ、国産小麦粉は据え置きとなるようです。(石上)

□お知らせ

○ 令和5年度学校給食優良工場、功労者を表彰

令和5年度学校給食優良工場として株式会社YKマールト〈浜松市〉、学校給食功労者として福田製パン株式会社〈磐田市〉の江塚隆代表取締役を表彰しました。

株式会社YKマールトは、静岡県 HACCP 及び JFS-B 規格を取得し、AIB フードセーフティ監査システムの取得に向けた取り組みを行うなど、安全な製品づくりとより良いパンづくりに努め、学校給食用パンの安定供給を支えています。

功労者の江塚代表取締役は、長年、学校給食用パン・米飯の安定供給に取り組む傍ら近隣工場に対して技術指導を行うなど学校給食用パンの品質向上に貢献してきました。今後も受賞者の更なるご活躍を祈念いたします。(小林)



株式会社YKマールト(大石氏)、江塚氏(福田製パン)

○ 「国産きびなごフライ」の製造工場を確認

3月15日、5月よりリニューアルする「国産きびなごフライ」の製造工場であるトミー食品株式会社倉岳工場〈熊本県天草市〉の施設設備及び品質管理・衛生管理体制について調査を実施しました。

同工場は昨年12月に稼働したばかりの新しい工場で、主に魚のフライを製造しています。工場内は整理整頓が行き届き、HACCPに基づく徹底した品質管理・衛生管理の下、安全で安心な製品づくりがされていました。これまでの1kg/袋入からご利用し易い100尾/袋入に変更し、確実な100尾カウントと衣の付き具合を厳しくチェックしている様子も確認することができました。なお、今回のリニューアルで大豆アレルギーがなくなりました。(齊藤)



○「国産たけのこ水煮缶詰」の生産地を訪問

4月17日・18日、鹿児島県の「国産たけのこ水煮缶詰」製造工場3社を訪問し、原料状況と製造について確認してきました。

鹿児島のたけのこは4月が最盛期で、たけのこ農家から毎朝掘り立てのたけのこが製造工場に次々と運び込まれます。工場では新鮮なうちに皮ごとボイルし、皮むき加工、規格ごとに選別、缶詰めされていきます。今年の鹿児島は表年で収穫量も多く24時間体制で稼働している工場もありました。たけのこ農家は年々減少しており、生産地では農家保護の観点から原料買取価格は一定水準を保つように努めています。今後、価格交渉をしていきますが、昨今のエネルギーコスト、空缶価格、人件費等の上昇もあり製品価格は大きく下がることはなさそうです。




(大久保)

○「第4回 食に関する図画コンクール」を実施します

本会では、食に関する図画を通して児童生徒が食の大切さや望ましい食習慣に対する関心を高め、地域でとれる産物や食文化などへの理解と知識を深めることにより食育の推進を図ることを目的として、本年も「食に関する図画コンクール」を実施します。各学校へは別途ご案内いたします。多くの児童・生徒にご応募いただきますようご協力をお願いします。

(前田)




第4回 食に関する図画コンクール



募集対象 静岡県内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒が「食に関すること」をテーマとして描いた図画作品

- ・学校給食の多様な献立の様子(パン、ごはん、めん、牛乳、おかずなど)
- ・学校給食の食事の様子や配膳の様子
- ・地域で取れる食産物の豊かな様子
- ・これからも大切に受け継いでゆきたい地域の食文化や食習慣の様子

募集期間 令和6年8月1日～9月30日

主催 公益財団法人静岡県学校給食会

共催 静岡県学校給食パン米飯協同組合、静岡県学校給食めん協同組合、静岡県牛乳協会

後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県校長会、静岡県教育研究会、静岡県PTA連絡協議会

□県学給新規取扱商品等のご案内

マカロニ風こんにやく	国産きびなごフライ	県内産かます米粉お茶フライ
新	変更	変更
1kg /袋	100尾 /袋	40g・50g /個
かぶら食品	トミー食品	清水冷凍
<p>群馬県産の良質なこんにやく精粉を使用し、ほどよい引きと弾力に仕上げたこんにやくです。</p> <p>サラダに使えるこんにやくのバリエーションが増えました。</p> 	<p>国産のきびなごをパン粉で衣付けした製品です。製造工場が変わり、1kg包装から100尾包装になりました。また、大豆アレルギーを除去しました。</p> 	<p>静岡県で水揚げされたかますを静岡県産緑茶を混ぜ合わせたバター液に浸し、米パフで衣付けした製品です。フィーレ形状から開き形状になり取扱サイズが一回り大きくなりました。(30g・40g→40g・50g)</p>  <p style="color: red; font-size: small;">※部位により形状が異なります。</p>

※ お問い合わせ・サンプル依頼等は、本会(TEL: 054-254-7428)までご連絡下さい。(大久保)

□令和6年度本会事業を紹介します

	事業名	趣旨	対象・関係者	期日
安定供給及び安全確保	物資委員会	商品の選定と供給、研究と開発に関する審議	物資委員会委員	6・10・1月
	委託工場実地調査及び選定委員会	指定更新のための実地調査及び指定審査	めん工場	調査…10・11月 選定…12月
	パン実技講習会・品質向上研修会	パン・米飯の品質向上のための実技講習会・品質向上研修会を開催	パン工場	8・2月
	商品の安定供給に関する協議会	関係機関及び団体等と協議	関係市町教委他	随時
	食品衛生講習会 食中毒発生防止の啓発	基幹商品等食品衛生講習会の開催及び食中毒発生防止の通知	パン・炊飯、めん工場他	講習…8・11月 啓発…随時
	基幹商品工場巡回調査	基幹商品委託工場を立入調査し衛生管理等の確認	パン・炊飯、めん工場	随時
	配送実態調査 衛生管理状況調査	一般商品配送委託業者等の配送実態を調査し衛生管理等の確認	配送業者他	随時
	商品受入・保管管理体制の整備	冷凍冷蔵保管庫を無償貸与し商品受入保管管理体制を整備	関係学校・共同調理場	6月
	基幹商品及び一般商品の定期検査	細菌、理化学、残留農薬検査等を実施し安全性の確認及び情報提供	基幹商品工場・配送業者	4・10月
	メーカー自主検査の義務付け	メーカーによる自主検査の実施及び結果報告の義務付け	メーカー	6月
普及充実及び食育推進	取扱商品製造工場等の実地調査	取扱商品製造工場を立入調査し品質管理・衛生管理等の確認	メーカー	随時
	学校給食優良工場・功労者の表彰	基幹商品優良工場・功労者を表彰	パン・炊飯・めん工場、功労者	1月
	諸団体助成	学校給食関係団体に対して助成	関係団体	6月
	研修会、講習会等助成	市町が実施する研修会・講習会等に助成	市町教委	6月
	講師紹介・あっ旋、工場見学 あっ旋	市町が実施する研修会・講習会に講師や工場見学をあっ旋	市町教委他	随時
	貸与事業	栄養管理システムソフトの貸与、献立レプリカ・年表パネル等の貸出し	市町教委他	随時
	食に関する図画コンクール	児童生徒を対象に食に関する図画コンクールの開催	児童・生徒	募集…8～9月
情報及び資料提供	食育教材等の配布(浜松支部事業)	地場産物の栽培キット等の配布	浜松市内関係学校	6月・10月
	各種イベント・セミナーへの参加	展示会・イベント・各種セミナーへの参加	県・市町・関係団体他	随時
	ホームページの運営	学校給食や食育に関する情報提供	一般・関係者	随時
	県学給だより、トピックスの発行	各市町・学校等に県学給だより、トピックスを配布	市町教委他	だより…5・9・1月 トピックス…毎月
	給食会要覧、事業案内、献立集の資料編さん	各市町等に事業案内等を配布	市町教委他	随時
	取扱商品に関する情報提供 商品展示会	各市町等に取扱商品一覧表等を配布、商品展示会を開催	市町教委他	提供…随時 展示…8月22日
	その他、要請に応じた情報提供	流通情報等の収集及び情報提供	市町教委他	随時
受託	緊急時における情報提供	商品等の緊急情報を各市町に提供	市町教委他	随時
	市町訪問事業の実施	各市町教委等へ訪問	市町教委他	5・6月
業務運営のための会議	牛乳供給に係る事務受託	牛乳協議会への参加、牛乳代金の取扱事務等	各学校他	通年
	浜松市学校給食用食材調達業務の受託	浜松市内の学校給食用食材の調達	浜松市内学校・共同調理場	通年
	評議員会	事業報告・決算等の承認	評議員・監事	6月
	理事会	事業報告・決算、事業計画・予算等の承認	理事・監事	報告・決算…6月 計画・予算…2月
	監事会	事業報告・決算の監査	監事	5月
	本部・支部連絡協議会	本部・支部における懸案事項及び提案事項の協議	本部・支部職員	随時
全国学校給食推進連合会及び関東ブロック連絡協議会の会議	公認会計士の会計監査指導	公認会計士による会計監査指導	公認会計士	随時
	全国学校給食推進連合会及び関東ブロック連絡協議会の会議へ出席	全国学校給食推進連合会及び関東ブロック連絡協議会の会議へ出席	役職員	随時